

令和3年度 水産業強化支援事業事後評価結果

長崎県水産部水産  
加工流通課

政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	加工流通構造改善目標	
事業実施主体	長崎漁港水産加工団地協同組合	
実施地区名	長崎市新三重漁協地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	令和3年度～5年度	令和6年度
交付金額	令和3年度 84,575,000円 令和4年度 67,016,000円 令和5年度 46,350,000円 合計 197,941,000円	
事業計画の内容	老朽化が著しい給水管（導水管・配水管）を耐震性のある水道管に取り替え、施設の長寿命化を図り、事業用水を安価で安定的に供給し、加工事業及び製氷事業の維持・強化を図るとともに、改築に伴い削減される管理費を用水使用料金の低減化のために還元し、加工用水を利用する各事業者の所得増加を図る。 ※事業量：導水管布設工事一式 6,845m 配水管布設工事一式 3,034.6m	
評価	成果目標	加工用水利用料金の減額に伴う所得増加額
	現状値 (A)	●●●●●千円（令和6年度末時点） 対目標値【=A/B×100】62%
	目標値 (B)	●●●●●千円（令和6年度末）
	(1) 現状値の説明	①●●●●●●●●●●円+②●●●●●●●●●●+③●●●●●●●●●● 円=●●●●●●●●●●円 ①10円/m <sup>3</sup> 減額による製氷事業者の用水利用料金減額 ・製氷事業3社の利用実績（142,073 m <sup>3</sup> ）により算出 142,073 m <sup>3</sup> ×●●●●●●●●●●円=●●●●●●●●●●円 ②●●●●●●●●●●円/m <sup>3</sup> 減額による加工事業者の加工増産額 ・加工事業者の利用実績（159,631 m <sup>3</sup> ）と、アンケート調査結果により、令和6年度の原料単価●●●●●●●●●●円/kg・製

		<p>品単価●●●●●円/kgにより算出</p> $\text{●●●●●●●●●●円} \div \text{●●●●●円/kg} \times \text{●●●●●円/kg} = \text{●●●●●●●●●●円}$ <p>③新規利用者の市水利用からの転換による経費削減額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用3社の使用実績(57,362 m<sup>3</sup>)と市水道料金(●●●●●円/m<sup>3</sup>)と加工用水料金(●●●●●円/m<sup>3</sup>)の差額(●●●●●円/m<sup>3</sup>)から算出</li> </ul> $57,362 \text{ m}^3 \times \text{●●●●●円} = \text{●●●●●●●●●●円}$
(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)		<p>①●●●●●円/m<sup>3</sup>減額による製氷事業者の用水利用料金減額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製氷事業者の過去5カ年の平均使用実績(147,043 m<sup>3</sup>)から、●●●●●●●●●●円の減額を見込んだが、氷の需要減少により令和6年度の使用実績は142,073 m<sup>3</sup>で、●●●●●●●●●●円の減額となった。</li> </ul> <p>※計画時 147,043 m<sup>3</sup> × ●●●●●円 = ●●●●●●●●●●円</p> <p>②●●●●●円/m<sup>3</sup>減額による加工事業者の加工増産額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工事業者の過去五カ年の平均使用実績(187,539 m<sup>3</sup>)と、アンケート調査に基づき原料単価●●●●●円/kg・製品単価●●●●●円/kgを用いて、加工増産額●●●●●●●●●●円(●●●●●●●●●●円 ÷ ●●●●●円 × ●●●●●円)を見込んだが、令和6年度の使用実績は159,631 m<sup>3</sup>で、アンケート調査の結果(原料単価●●●●●円/kg・製品単価●●●●●円/kg)から、加工増産額は●●●●●●●●●●円(●●●●●●●●●●円 ÷ ●●●●●円 × ●●●●●円)となった。</li> </ul> <p>※計画時 ●●●●●●●●●●円 ÷ ●●●●●円/kg × ●●●●●円/kg = ●●●●●●●●●●円</p> <p>③新規利用者の市水利用からの転換による経費削減効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用3社からの聞き取りにより、使用見込みを102,200 m<sup>3</sup>/年と見込んだが、使用実績は57,362 m<sup>3</sup>/年であり、経費削減効果は●●●●●●●●●●円(57,362 m<sup>3</sup> × ●●●●●円/m<sup>3</sup>)となった。</li> </ul> <p>※計画時 102,200 m<sup>3</sup> × ●●●●●円 = ●●●●●●●●●●円</p>
(3) 資源管理の取組状況等(ハード事業のみ)		<p>漁業調整規則、漁業調整委員会指示及び当該漁協共同漁業権行使規則に規定された内容、制限・条件を遵守し、水産生物の採捕を行うとともに、地域内の漁業者間で取り決める資源管理協定に基づいた適正な管理に努めた。</p>
(4) 所見		<p>①施氷が多く必要となる鮮魚出荷が減少したことから、氷の需要が減少した。</p> <p>②加工向け原材料、並びに製品単価の上昇とともに、各種資材の高騰、人手不足等により工場の稼働率が低下傾向にあ</p>

		<p>り、加工用水の使用実績が減少した。</p> <p>③養殖餌料向けのイワシが大漁に漁獲されたが、餌の需要量が減少しており、冷蔵庫が満庫状態となり、餌加工用の水使用量も減少した。</p> <p>以上により、成果目標を達成出来なかった。</p>
	(5) 評価機関の意見等	(評価機関等の評価を受けた場合に記入)
<p>今後の改善方向等に関する分析</p>		<p>①鮮魚の水揚げについては、天候・資源状況・漁模様等によって左右されるが、鮮魚出荷量の回復に対応出来るように、製氷向けの加工用水の安定供給に努める。</p> <p>②次の取組により、加工場の稼働率を向上し、加工用水の使用量を増加させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工原料について、当組合の仕入れ先を拡大し、組合員への原料安定供給に努める。</li> <li>・加工製品については、シーフードショー出展等による新規顧客の獲得や、百貨店・量販店へ販売強化を図り、海外に向けた販売量を拡大するため、国内の輸出商社と商品開発を行う。</li> <li>・加工場では人手不足が大きな課題となっており、外国人技能実習生の受け入れを拡大、或いは新たに実施する方向で検討されている。その際に問題となる実習生の宿舍確保に向け、当組合において、組合員が雇用する外国人技能実習生向けのアパートを建設中であり、人手不足解消の一助とする。</li> </ul> <p>③昨年より養殖魚の在池尾数が増加しており、秋以降の餌需要が回復見込みである、これに伴い餌加工も回復し、加工用水の使用量も増加すると思われる。</p>